

黑 旗

一 輯

黑 旗 詩 社

黑旗詩社
1971



墓 碑

目 面 像

遠い一点のうす灯りをめがけて

夜更け

黒壁に飢え渴く頭蓋を打つける
蛾

破鏡！

鉄片が 足に突き刺さつた

齒車のやうな傷口から

無数の黒血がウジ虫のやうに湧いた

鉄を切る

俺らの労働

俺は はんまゐを握つて
立て！

まつくらやみにうごく
石のやうに動く人間だ

鉄を切る

黒の音響！

穿孔機に腕を捲き込まれた

ぐんぐんぐんぐんぐん

穿孔機の逆轉！

俺の腕が捲き込まれた

俺の腕がヴェルトのやうな旋回

(無氣味な音で腕を噛んでゐる機械)

機械 機械の反抗

俺は目をつぶる

頭上 まつくらに割れた地球

血 泥 泥 泥

腕がもぎれさうだ

后記

・黒旗の創刊!

黒旗を人間の肉体の上に押し立てる。

黒旗 第一輯

昭和二年五月二十日發行

編輯發行人
發行所
印刷所

島田 春夫
福島縣平町新川町二九 黒旗詩社
福島縣平町白銀町十 丸山印刷所